

施策の柱6 県民みんなで支え合う共生社会の推進

保護者や県民を対象とした共生社会へ向けた理解啓発の一層の推進や、学校における障がい理解学習の推進を通して、障がいのあるなしにかかわらず、全ての人がお互いの人権や尊厳を大切に支え合い、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる共生社会づくりを目指します。

施策の内容

- (1) 共に支え合う意識を深める障がい理解学習の推進
障がいについて正しく理解し、共に認め合い支え合っていく態度を育てるため、小学校の低学年から発達の段階に応じた計画的な障がい理解学習を推進します。
- (2) 主体的に学び合う交流及び共同学習の推進（新規）
「心のバリアフリー」についての啓発を進めるとともに、子どもが主体となり計画する交流及び共同学習をより一層推進するとともに、地域とのつながりがもてる居住地校交流の充実を図ります。
- (3) 障がい理解を広める県民への啓発・広報活動の充実
障がいについてより多くの人に知ってもらうため、障がいのある子どもの活動や作品等について情報発信するなど、多様な方法や場を工夫した県民への積極的な理解啓発・広報活動の充実を図ります。

展開する主な取組

- 共に育つための早期からの障がい理解学習の推進
小学校の低学年から高等学校までの発達の段階に応じて、共に支え合う意識を深めていくため、道徳科や総合的な学習の時間及び高等学校における総合的な探求の時間等において障がい理解学習を行うなど、計画的な理解啓発の推進に努めます。
- 地域と共に学び合う交流及び共同学習の推進（新規）
小・中・高等学校等と特別支援学校との交流及び共同学習において、児童生徒が交流の内容を考え、進行や運営を行うなど、子どもが主体となる活動を推進します。
また、特別支援学校に在籍する児童生徒が地域とつながりがもてるよう、居住地域にある小・中学校に交流籍を置く取組についての研究を推進します。

○ 障がい理解のための啓発・広報活動の推進

特別支援学校の行事や部活動等の取組をあらゆる機会を通じて紹介することで、学校や障がいについての理解啓発の場づくりに努めます。

また、マスメディアや広報紙、インターネット等を活用し、県内全域に学校や地域での理解啓発活動の様子を発信するなど、県民への積極的な広報活動に努めます。

○ 心のバリアフリー活動の推進（新規）

高校生による特別支援学校や障がい者施設等を対象とした、スポーツ用具の製作や植物や果物を用いた交流など、障がいのない生徒による主体的な活動を推進します。

また、その様子を広報したり、多くの県民に対して経験したことや学んだことを発表したりすることで、県民の「心のバリアフリー」の理解啓発に努めます。

【展開イメージ】 学校から広がる共生社会の推進

